

平成 20、21 年度
中期目標の達成状況報告書
(別添資料)

平成 22 年 6 月
京都大学

目 次

資料 1-1-2-2 学士課程における演習・実習等科目	1
資料 1-2-2-2 学士課程における外国人学者による講義等	3
資料 1-2-3-2 大学院課程における外国人学者による講義等	4
資料 1-2-5-1 学士課程における演習・実習・実験等科目数	5
資料 1-3-1-5 教育の目的・目標等の周知	6
資料 1-4-3-3 海外同窓会等	7
資料 3-1-2-6 本学の基本理念等の学外への周知	8

【事前の包括的プレ講義を実施している現地滞在型実習の例】

(科目名) 森里海辺環境学実習 B (英 訳) Exercises in Ecological Interactions between Forests and Coastal Areas B	(群) B群 (単 位 数) 2単位 (開 講 期) 前期集中 (週コマ数) 2コマ (授業形態) 実習 (対象回生) 全回生 (対象学生) 全学向 (履 時 限) 集中講義
(所 属 部 局) (職 名) (氏 名) フィールド情報センター 准教授 榎本 信也 フィールド情報センター 准教授 徳地 直子 フィールド情報センター 准教授 久保田 信 フィールド情報センター 講師 宮崎 勝巳 フィールド情報センター 助教 大和 茂之 フィールド情報センター 助教 深見 裕伸	
(授業のテーマと目的) 紀伊半島南部の古里川流域と河口沖に広がる串本海岸域までの自然域と里域(里山、里地、里海、里川)を対象に、フィールド調査の理論と実践的手法を学び、現地観察や聞き取り、各域から得られる各種サンプルデータとそれらの分析に基づいて、当該地域の連環の諸相(環境、生物、文化)について考察、地域保全と観光のあり方についても言及する。	
(履修計画と内容) 日程：2009年9月18日(金)～24日(木) 1日目 ガイダンス、対象地域巡視、ミニ講義 2日目 巡視(続き)、班形成と課題作り、ミニ講義 3日目 課題別現地調査ならびに結果分析、検証、作戦会議 4日目(祝日) 5日目 合同調査、補足調査 6日目 中継発表会、補足調査、報告書作成 7日目 報告書提出、後片付け、解散	
(成績評価の方法) 授業への取り組み態度、共同生活態度、最終日に提出するレポート内容を総合的に勘案して評価する。	
(コメント) 森林域から海域までの様々なフィールドでの実習を通して、その時間を体感する。北海道大学との共同なので、幅広い人的交流が可能である。かならず履修保険に加入しておくこと。食事は共同自炊、往復交通費は自己負担。	
(関連URL) http://www.fsrec.kyoto-u.ac.jp/	
(履修要件) 特になし。	
(教科書) 特になし。 (参考書等) 榎本信也(編著)『古里川合同調査報告集 第1、2、3巻(当日配布)』(京大紀伊大島実験所) 田中克『森里海辺環境学への道』(旬報社)	

(出典：平成 21 年度全学共通科目授業内容)

【Web 配信動画資料「基礎化学実験基本操作」の例】



[ナレーション](#)

[English Page](#)

2. Al イオンの確認反応 - アルミンレーキ

[操作法 TOP](#) > [操作法 2](#) > アルミンレーキ

■ 概要・一般的注意

- 赤色のアルミンレーキの生成によって Al^{3+} を確認する(アルミン反応)。
- レーキとは、金属の水酸化物に色素が吸着してできる着色物質である。アルミンレーキは、水酸化アルミニウム($Al(OH)_3$)沈殿に有機色素であるアルミンが吸着したものである。
- アルミン(オーリントリカルボン酸アンモニウム)
- アルミンレーキは、酢酸アンモニウム(CH_3COONH_4)を含む緩衝溶液中でのみ生成する。
- アルミンレーキが生成する反応液の pH は 5~7 付近である。
- アルミンレーキの沈殿が分離しにくいときは、反応液を遠心沈降して観察する。
- アルミン試薬は、酸性条件では水に不溶のオレンジ色沈殿を生じる。これとアルミンレーキとを間違えてはいけない。
- アルミン試薬自体が赤色であるため、過剰に加えすぎると上澄み液が着色して赤色のレーキの生成を見極めにくい。
- 指示通りの操作を行ってもアルミンレーキが生成しにくいときは、3 mol/L CH_3COONH_4 を約 0.5 mL 追加してみるとよい。
- アルミンレーキの生成に毎回必ず 6 mol/L NH_3 水溶液を過剰に加えさせる

(出典：全学共通科目化学系実験ホームページ)

※ すべての操作法並びに動画をご覧になる場合は、下記 URL へアクセス願います。

【化学実験操作法 動画資料集】<http://www.chem.zenkyo.h.kyoto-u.ac.jp/operation/>

資料 1-2-2-2 学士課程における外国人学者による講義等

【平成 21 年度における外国人教員等による授業科目数及び外国人客員教授、外国人招聘学者等による特別講義・セミナー等の数】

学部	講義	演習	実習	特別講義・セミナー等
総合人間学部	12	5	0	0
文学部	28	14	8	74
教育学部	0	3	2	0
法学部	0	0	0	0
経済学部	3	2	0	0
理学部	1	0	0	2
医学部	0	0	0	0
薬学部	2	0	0	0
工学部	2	0	0	51
農学部	3	4	0	0
全学共通科目	14	3	0	0

※ 学士課程学生は、大学院課程を対象とした特別講義・セミナー（資料 1-2-3-2）にも参加可能

【外国人教員等による授業科目のシラバス例】

授業科目名	ヒストリー・オブ・アイディアズII B						
英文科目名	History of Ideas II B						
担当教員	D. トラウデン						
科目番号	1127001	対象年生	2-4	開講期	後期	単位	2
授業テーマ・目的	Images of Women in Western Culture						
授業計画・内容	The western images of women are diverse and confusing. From the saint to the witch, from the adored object of love to the despised stronghold of evil, from the obedient housewife and mother to the independent business-woman and feminist fighter for women-rights, there exists a great variety of female role-concepts in western history, most of them developed by men. In this course we shall discuss some of the basic sources and historical backgrounds, which formed the western ideas about women and their role in society, such as women in Christian thought, the legal position of women, the concept of "courtly love", women and education, the working woman, women in politics etc.						
履修要件	英語での講義、議論、レポートに対応できること						
成績評価・方法	Evaluation will be based upon class participation and one brief written report (about 2 pages). This class will be conducted in basic academic English.						
コメント							
教科書	All necessary materials will be handed out during class.			参考書			

(出典：平成 21 年度総合人間学部便覧)

【外国人学者によるセミナーの例】

■ 合成・生物化学専攻 機能化学セミナー

日時	2009年04月16日 16時00分 - 16時00分
場所	化: 桂
イベントをカレンダーに追加	

講演者: Prof. Ren-Gen Xiong (Nanjing University, 南海大学)

演 題: Potential Molecule-Based ferroelectrics

日 時: 2009年4月16日(木) 16:00~

場 所: 桂キャンパスAクラスターA2棟308号室(化学系第5講義室)

(出典：工学部ホームページ)

資料 1-2-3-2 大学院課程における外国人学者による講義等

【平成 21 年度における外国人教員等による授業科目数及び外国人客員教授、外国人招聘学者等による特別講義・セミナー等の数】

研究科	講義	演習	実習	特別講義・セミナー等
文学研究科	22	14	1	78
教育学研究科	1	8	0	4
法学研究科	0	2	0	19
経済学研究科	2	2	0	11
理学研究科	7	6	1	313
医学研究科	1	0	0	12
薬学研究科	0	0	0	24
工学研究科	7	5	1	51
農学研究科	1	3	0	2
人間・環境学研究科	10	5	0	10
エネルギー科学研究科	6	0	0	0
アジア・アフリカ地域研究研究科	5	0	0	14
情報学研究科	2	0	0	12
生命科学研究科	0	4	0	10
地球環境学舎	1	1	0	1
公共政策教育部	1	4	0	0
経営管理教育部	6	2	0	29

※ 学士課程学生は、大学院課程を対象とした特別講義・セミナーにも参加可能

【外国人学者による特別講義の例】

第440回
 題目: The expanding bipolar shell of the helium nova Y445 Puppis
 講師: Patrick A. Woudt氏 (University of Cape Town)
 日時: 11月20日(金)午後4時~
 (November 20 (Fri), 2009, 16:00 -)
 概要:
 From multi-epoch adaptive optics imaging and integral field unit spectroscopy we report the discovery of an expanding and narrowly confined bipolar shell surrounding the helium nova Y445 Puppis (Nova Puppis 2000). An equatorial dust disc obscures the nova remnant, and the outflow is characterised by a large polar outflow velocity of 8720 +/- 850 km/s and knots moving at even larger velocities of 8450 +/- 570 km/s. We derive an expansion parallax distance of 8.2 +/- 0.5 kpc and deduce a pre-outburst luminosity of the underlying binary of $\log L/L_{\text{Sun}} = 4.34 \pm 0.36$. The derived luminosity suggests that Y445 Puppis probably contains a massive white dwarf accreting at high rate from a helium star companion making it part of a population of binary stars that potentially lead to supernova Ia explosions due to accumulation of helium-rich material on the surface of a massive white dwarf.

(出典: 理学研究科ホームページ)

Role of autophagy in plant nitrogen metabolism	
日時	2009年 11月 10日 (火曜日) 16時30分~18時00分
演題	Role of autophagy in plant nitrogen metabolism
場所	京都大学北部キャンパス農学部総合館W106講義室
演者(所属)	Dr. C. ine Masclaux-Daubresse(INRA, France)
世話人(分野)	佐藤文彦(全能性統御機構学分野)
ポスター	 091110_seminar.pdf

(出典: 生命科学研究所ホームページ)

資料 1-2-5-1 学士課程における演習・実習・実験等科目数

【演習・実習・実験科目数一覧】

「資料 1-1-2-2 学士課程における演習・実習等科目」の【演習・実習・実験科目数一覧】と同じ

【ディスカッション能力、プレゼンテーション能力等の涵養を目的としている演習の例(平成 21 年度)】

氏名	鎌倉 徹 准教授
テーマ	財政・環境・公共政策 2・3・4 回生
<p><講義内容></p> <p>1. 本ゼミは、財政学・地方財政論・環境経済学をベースに、公共政策や環境政策の分析をテーマとします。「経済のグローバル化」が進行する中で、環境を保全しつつ公平性にも配慮した「持続可能な発展」を実現するにはどうすればよいか、そして、そのための財政システムや公共政策・環境政策のあり方はどうあるべきなのか、といった問題を考えるのがこのゼミの目標です。環境経済学と地方財政論の基礎理論を取り上げた昨年とは異なって、本年度は以下のテーマを取り上げて集中的に討論したいと思います。</p> <p>持続可能な発展と地域・都市のあり方</p> <p>>経済がグローバル化していく中で地域間格差が拡大しつつあります。その中でどのような地域が繁栄し、衰退していくのかという点は大変興味深いテーマです。その原因を探るとともに、グローバル経済下での新しい地域発展や都市経営のあり方を探っていく必要があります。「持続可能な都市」や「創造都市」をめぐる議論はこの点で極めて重要な、既に実践に移されつつある都市発展のアイディアです。</p> <p>テキスト候補：①アナーシー・サクセニアン著・大崎研一訳『現代の二部物語』講談社、1995年。 ②リチャード・フロリダ著・井口典夫訳『クリエイティブ資本論』ダイヤモンド社、2008年。 ③鎌倉徹『環境』岩波書店、2003年(あるいは、鎌倉が現在共著で執筆中の、上記テーマに関する新しい著作の出版が間に合えば、それを使用する可能性もあります)。</p> <p>2. 2回生ゼミでは半年間(前期)、3・4回生ゼミとは切り離して独自に、2回生対象の少人数ゼミを行います。テキストを輪読しながら、テキストの読解の方法、その内容理解と要約のやり方、そして、プレゼンテーションと参加者による議論の進め方について、実践を通じて徐々に習熟していただくことが目的です。また、この2回生ゼミは2009年度後期から上回生とともにゼミで本格的に活動していくための準備の場としても捉えることができます。さらに、ここで様々な知的生産のための技能を身につけておけば、大学および社会に出てからの知的作業にも役に立つはずです。</p> <p>3. 本ゼミでは、横浜国立大学の井手英策ゼミ、および慶応大学の金子勝ゼミとインゼミを行っています。これは、両大学のゼミがそれぞれ共同論文を作成の上、口頭で発表し、それをめぐってディベートを行うというものです。論文作成のために、ゼミ生はチームを組んで、自ら調査研究や企業・自治体へのヒアリングを行い、相互に協力しながら論文を完成させます。この過程は、教室では得られない刺激を受けられる、またとない勉強の機会になっており、ゼミ生はこの経験を通じて大きく成長していきます。また、ゼミ生同士の結束も高まり、他の場所では得がたい友人を得られる機会ともなります。ちなみに、2008年度は2班に分かれ、一方は選別討論を企画しながら、一層制の地方政府構造を目指した新しい日本の行政システムのあり方に関する研究を行い、他方は、温室効果ガス排出を抑制する排出量取引制度が、国内の経済産業構造にもたらす影響とその将来展望に関して研究をしています。このような活動に積極的に参加して下さる方々は大多数です。</p>	

(出典：経済学部「授業計画及び講義概要」)

科目コード	7040014	開講期	通年
専修	考古学	毎週時間	2
講義別	演習 I	単位	4
担当者(職名・氏名)	職名	氏名	曜時限 月 3
	教授	泉 拓良	
対象回生	3~4		
題目	三回生		
授業計画と内容	<p>受講生は、前期は発掘調査法について、海外の文献も参考にしながら学ぶ。 後期には考古学の基礎となる学術著作や論文を、テーマを設けて熟読し、その研究戦略、資料収集、分析、解釈等を要約し、レポートを書き、発表し、討議をおこなう。また、同じテーマで異なる結論となる複数の論文を比較し、相違の生じる原因について議論する。発表、レポートは内容だけでなく、発表手法や表現技術の向上も目的とする。</p>		
テキスト・参考文献	参考文献：Mortimer Wheeler, <i>Archaeology from the Earth</i> , 1954. Museum of London, <i>Archaeological site manual</i> , 1992.		
成績評価方法・備考	毎回の発表とレポート、年度末のレポートで総合的に評価する		

(出典：文学部「学生便覧(講義題目)」)

授業科目名	生体情報論基礎ゼミ — 生きものの形づくりの論理ゼミ —						
英文科目名	「Seminar: Logic of morphogenesis in living organism」						
担当教員	小林茂夫、前川真吾						
科目番号	8288001	対象回生	1-4	開講期	後期	単位	2
授業テーマ・目的	受精から始まる発生過程を通して、個々の生きものは生物種に固有の形になる。いかにしてその形が生まれるのだろうか？1個の受精卵は、細胞分裂で2個の細胞になる。このような細胞分裂が40回繰り返されると、2の40乗つまり1兆個の細胞が生まれる胎動になる。これらは、同じ遺伝情報をもつクローン細胞だが、器官ごとに異なる機能と形を持った細胞となる。それらの集合体が個体である。このゼミでは、「形づくり」の論理を受講者全員で考察する。						
授業計画・内容	最初の2-3回の時間を使い、このゼミのテーマと目的を話す。また、DNA/RNA/タンパク質の生まれるしくみ、細胞分裂、発生など生物学の基礎を話し、形づくりの論理のおおよそを説明する。その後、受講する学生が、生物の「形づくり」を中心に興味深いトピックを選び、背景もふくめてその内容を発表する。その際、形づくりの論理に焦点をしばり、発表内容を受講者全員で議論・考察する。						
履修要件	特になし。						
成績評価・方法	このゼミの中で、学生は一度の発表を行う。 出席回数、発表内容、討論の内容で成績を評価する。						
コメント	ここで扱うテーマは生物学的な知見にとどまらない。医療、経済、法律、哲学など人間社会全体に影響を及ぼす。理系と文系の学生の参加を歓迎する。						
教科書	参考書						

(出典：総合人間学部便覧)

資料 1 - 3 - 1 - 5 教育の目的・目標等の周知

【京都大学全学教育シンポジウムにおける総長基調講演（抜粋）】

皆さんこんにちは。全学の共通シンポジウム、第13回ということで、教育について全学を挙げて考えるシンポジウムを、長年この大学はやってまいりました。

・・・(中略)・・・

基本理念は本学で定められております。ホームページ等に出ておりますけれども、教育に携わる人々がこれをじっくり見る機会はそう多くないと思います。特に、若手の教員にとっては、基本理念はむしろ縁遠い存在ではないかと思いますが、これも十分学内のいろんな意見を通じて、対話を通じて形成された結論の一つだと聞いており、また私もそう理解しております。

研究、教育、社会との関係、大学の果たすべき3つの大きな役割ごとに理念を定めております。特に本日のテーマは教育ですので、教育のところだけ読みますと、「対話を根幹として自学自習を促し、卓越した知の継承と創造的精神の涵養につとめる。地球社会の調和ある共存に寄与する優れた研究者と高度の専門能力を持つ人材を育成する。」こうあります。

前半は、人間として、社会のリーダーとして育てていくための事柄が書かれていると思います。後半は、高度な専門家を教育、指導者として育てていくということが書いてあると理解できます。

・・・(後略)・・・

(出典：第13回京都大学全学教育シンポジウム報告書)

【新採用職員研修日程表】

平成21年度京都大学新採用職員研修日程表

4月2日(木)	4月3日(金)	4月6日(月)	4月7日(火)	4月8日(水)
[会場] 本部棟5階大会議室	[会場] 本部棟5階大会議室	[会場] 本部棟5階大会議室	[会場] 本部棟5階大会議室	[会場] 本部棟5階大会議室
8:30～8:45 オリエンテーション 8:45～9:00 開講式(挨拶・松本基 総長) 9:00～9:40 大西 珠枝 理事 「新採用職員に期待すること」	8:30～12:30 (有)スマート・アイ	8:30～9:10 総務部職員課「京都大学の就業規則(職務・倫理)」 9:20～10:40 村上 嘉津子 准教授 「ハラスメントの予防と対処」	8:30～12:00 (有)スマート・アイ	8:30～10:45 情報環境部 「京都大学グループウェアについて」
9:50～10:50 西村 周二 理事 「京都大学の教育」		10:50～12:00 大学文書館 西山 伸 准教授 「京都大学の歴史」	「仕事力向上のための体験学習」	11:00～12:00 吉川 潔 理事 「京都大学の外部戦略」
11:00～12:00 塩田 浩平 理事 「京都大学の財務、産官学連携」	「社会人としてのマナー」	12:00～13:00 昼休み	12:00～13:00 昼休み	12:00～13:00 昼休み
12:00～13:00 昼休み	12:30～13:30 昼休み	12:50集合 13:00～14:15 (宇治キャンパス(宇治川水理実験所)へ移動)	13:00～17:15	13:00～14:00 大西 有三 理事 「京都大学の施設・キャンパス整備について」
13:00～14:00 江崎 信芳 理事 「国立大学法人とは」	13:30～14:30 (桂キャンパスへ移動)	14:15～16:00 宇治キャンパス(宇治川水理実験所)施設見学	(有)スマート・アイ	「仕事力向上のための体験学習」
14:10～15:20 佐治 英郎 環境安全保健機構長 「京都大学の環境安全衛生活動の現状と方針」	14:30～16:15 桂キャンパス施設見学	16:00～17:15 (吉田キャンパスへ移動)	「仕事力向上のための体験学習」	14:10～16:40 班別討議 「社会人と職場生活」
15:30～16:30 藤井 信孝 理事 「京都大学の研究企画・戦略」	16:15～17:15 (吉田キャンパスへ移動)			16:40～17:10 NCSアンケート記入 17:10～17:15 閉講式
16:30～17:30 保健管理センター 阪上 優 助教 「うつ病と心の健康」				
(懇親会会場へ移動)				
18:00～19:30 懇親会 「京大生協吉田食堂1階(吉田南構内)」				

(別紙2)

(出典：平成21年度京都大学新採用職員研修(4月)配付資料)

資料 1 - 4 - 3 - 3 海外同窓会等

【地域同窓会（海外同窓会）】

現在の場所: [ホーム](#) > [同窓会](#) > [地域・その他同窓会](#)

ホーム	地域・その他同窓会
* 総合トップ	地域 同窓会
● 教育トップ	<ul style="list-style-type: none"> 北海道京大 岐阜京都大学同窓会(東友会) 大阪京大クラブ 広島京大 鳥取京大 京大土佐吉田会 京都大学愛媛同窓会 湘南京大(旧茅ヶ崎京大) 東山会(ひがしやまかい)(京都大学鹿児島同窓会) 京京会(中国・北京地区京都大学同窓会) 韓国同窓会 北カリフォルニア洛友会(洛友会@San Francisco) インドネシア京都大学同窓会(HAKU) バンコク京都大学同窓会 京都ユニオンクラブ(KUC)(タイ) ラオス京都大学同窓会
◆ 研究トップ	
学部・大学院	
研究所・教育研究施設	
全学機構	

(出典：京都大学ホームページ（日本語）)

You are here: [Home](#) > [alumni](#) > [Regional and Other Alumni](#)

HOME	Regional and Other Alumni
* University Profile	Regional and Other Alumni
● Education	<ul style="list-style-type: none"> Kyoto University Hokkaido Alumni Kyoto University Gifu Alumni (Rakuyukai) Kyoto University Osaka Alumni Club Kyoto University Hiroshima Alumni Kyoto University Shimane Alumni Kyoto University Tosa-Yoshida Alumni Kyoto University Ehime Alumni Kyoto University Shonan Alumni Hiyashiyamakai (Kyoto University Kagoshima Alumni) Kyoto University Beijing, China Alumni Kyoto University Korea Alumni Rakuyukai-San Francisco Himpunan Alumni Kyoto University (HAKU) Kyoto University Bangkok Alumni Kyoto Union Club(KUC) Kyoto University Network in Laos
◆ Research	
Faculties & Graduate Schools	
Research Institutes & Centers	
Organizations	

(出典：京都大学ホームページ（英語）)

【海外同窓会との継続的な交流の例】

現在の場所: [ホーム](#) > [総合](#) > [お知らせ](#)

ホーム	第4回京都大学ホームカミングデイを開催しました。(2009年11月14日)
* 総合トップ	500名を越える同窓生・現旧教職員、現役学生の参加を得て「第4回京都大学ホームカミングデイ」を時計台記念館等で開催しました。
大学紹介	午前中には、今年の10月に完成した学生・教職員等が集う宇治おうばくプラザの施設見学ツアーなどを実施しました。また、今回初めて開催した「OB・OGと学部学生・大学院学生との交流会」では、幹細胞研究をテーマにしたワークショップや社会人としてのもの考え方、心構えについて意見交換が行われました。参加したOB・OGや学生からは、大変有意義であったとの感想が圧倒的に多く、また「女子学生対象シンポジウム－私の生き方－」に参加した女子学生からは、各界で活躍する女性卒業生の姿にこれからの進路を考える上で参考となったなどの感想が寄せられました。
運営・将来構想	午後には開催した同窓会全体会議では、同窓会会長 松本絃総長の挨拶の後、同窓会役員代表の広島京大 池内浩一氏、 <u>海外の同窓会(インドネシア国、タイ王国、中華人民共和国)からそれぞれ代表者の挨拶が行われました。</u> 続いて特別講演会では、農学研究科伏木亨教授の「おもしろさとは何か:おもしろさを科学で説明する試み」と題する講演があり、記念演奏会では京都大学交響楽団60名による「琵琶湖周航の歌」などの演奏が行われました。
諸規程	記念演奏会終了後のミキサー(交流会)は、京都大学同窓会顧問の沢田敏男元総長の乾杯の発声で開宴しました。今回のホームカミングデイは学生にも参加を呼びかけ、文化系・体育系クラブの活動報告が行われ、現役学生の活躍ぶりに会場は大いに盛り上がりしました。最後は松本総長を中心に全員が肩を組み、第一応援歌「新生の息吹」を応援団のリードにより全員で合唱しました。今回は、OB・OGと教職員だけではなく、海外同窓生や学生の参加もあり、例年以上の盛り上がりの中、お互いの交流を深めて盛況のうちに終了しました。
情報公開	なお、この日のホームカミングデイに合わせてクラス会、サークル等が時計台記念館や教室等で開催されました。
環境への取組	次回は平成22年11月13日(土曜日)に開催の予定です。卒業生のみならず、現旧の教職員、学生や家族の皆様参加を歓迎します。
人権	
男女共同参画	
安全への取組	
調達情報	



左からインドネシア国 京大同窓会「HAKU」代表、タイ王国 バンコク京都大学同窓会代表、中華人民共和国・京都大学 留学卒業生代表

(出典：京都大学ホームページ)

資料3-1-2-6 本学の基本理念等の学外への周知

【基本理念の周知】

現在の場所: [ホーム](#) > [検索](#) >> [大学紹介](#) >>> [理念・憲章](#) >>>> [基本理念](#)

<p>ホーム</p> <p>* 総合トップ</p> <p>大学紹介</p> <p>理念・憲章</p> <p>総長室</p> <p>役員等</p> <p>組織・管理運営機構</p> <p>3つのキャンパス</p> <p>施設</p> <p>シンボル</p> <p>京都大学名誉博士</p> <p>栄誉</p> <p>データで見る京都大学</p> <p>写真・動画で見る京都大学</p> <p>歴史</p>	<h2>基本理念</h2> <p>京都大学は、創立以来築いてきた自由の学風を継承し、発展させつつ、多様な課題の解決に挑戦し、地球社会の調和ある共存に貢献するため、自由と調和を基礎に、ここに基本理念を定める。</p> <hr/> <h2>研究</h2> <ol style="list-style-type: none"> 1. 京都大学は、研究の自由と自主を基礎に、高い倫理性を備えた研究活動により、世界的に卓越した知の創造を行う。 2. 京都大学は、総合大学として、基礎研究と応用研究、文科系と理科系の研究の多様な発展と統合をはかる。 <hr/> <h2>教育</h2> <ol style="list-style-type: none"> 3. 京都大学は、多様かつ調和のとれた教育体系のもと、対話を根幹として自学自習を促し、卓越した知の継承と創造的精神の涵養につとめる。 4. 京都大学は、教養が豊かで人間性が高く責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に寄与する、優れた研究者と高度の専門能力をもつ人材を育成する。 <hr/> <h2>社会との関係</h2> <ol style="list-style-type: none"> 5. 京都大学は、開かれた大学として、日本および地域の社会との連携を強めるとともに、自由と調和に基づく知を社会に伝える。 6. 京都大学は、世界に開かれた大学として、国際交流を深め、地球社会の調和ある共存に貢献する。 <hr/> <h2>運営</h2> <ol style="list-style-type: none"> 7. 京都大学は、学問の自由な発展に資するため、教育研究組織の自治を尊重するとともに、全学的な調和をめざす。 8. 京都大学は、環境に配慮し、人権を尊重した運営を行うとともに、社会的な説明責任に応える。
--	--

(平成13年12月4日制定)

(出典：京都大学ホームページ)

【社会人に向けた大学院コースの案内】

現在の場所: [ホーム](#) > [教育](#) >> [カリキュラム](#) >>> [大学院進学](#) >>>> [社会人のための大学院コース](#)

<p>ホーム</p> <p>* 総合トップ</p> <p>◎ 教育トップ</p> <p>カリキュラム</p> <p>全学共通教育</p> <p>学部・大学院</p> <p>大学院進学</p> <p>外国語教育</p> <p>課外教養教育</p>	<h2>社会人のための大学院コース</h2> <p>現在、社会状況はますます複雑化し、職業を持つ社会人でも大学で再び学び直すことを希望する人が増えています。あるいは、大学を卒業して就職した後に、現場の具体的な問題に触れてこそ、学習や研究を深めていく必要性を感じるという場合もあります。このような要請に応えるため、京都大学には社会人の大学院進学のための制度が整備されています。この制度には大きく分けて、研究者養成を主眼とした大学院が おこなっている「社会人特別選抜」と、先述した高度専門職業人養成大学院への入学があります。</p> <p>京都大学でも多くの大学院が社会人特別選抜をおこなっています。いずれも、社会での実務経験のある人材に対して門戸を開き、リフレッシュ教育の機会を提供するとともに、多様な人材を受け入れることで大学院の活性化をねらっています。</p> <p>また、専門職大学院では、当該専門と直結する分野以外を卒業した者や在職社会人を積極的に入学者として受け入れており、多様なバックボーンをもつ人々がこれまでの自分のキャリアを活かしつつ、専門的な職業能力を身につけるよう工夫されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 大学院進学について ■ 主な出身学部一覧 ■ 大学院の種類
--	--

(出典：京都大学ホームページ)

【受託研究員の案内】

現在の場所: [ホーム](#) > [研究](#) >> [若手研究者支援](#) >>> [研究員制度](#) >>>> [受託研究員](#)

ホーム
※ 総合トップ
◎ 教育トップ
◆ 研究トップ
若手研究者支援
支援制度
若手研究者支援制度に関する説明会
研究員制度
若手研究者キャリア支援
京都大学次世代研究者育成支援事業「白眉プロジェクト」

受託研究員

目的	我が国産業の進展に資するため、民間会社等の現職技術者及び研究者に対し、国立大学等において、大学院で行う程度の研究の機会を与え、その能力の一層の向上を図る。
資格	民間会社等の現職技術者等であって、学校教育法(昭和22年法律第26号)第67条本文で定める大学院に入学することのできる者又は国立大学等の長がこれらに準ずる学力があると認められた者。
期間	1年以内(受入れ許可日の属する会計年度内) ※研究の継続の必要があると認めるときは、翌年度において、更に受入れを許可することができる。
研究費	下表参照
受入手続	1. 民間会社等の長から部局に受入れ依頼 (民間会社等の長の依頼書・志願書・履歴書を受入を希望する部局へ提出) 2. 部局長は裁定のうえ、委託者へ許可を通知 3. 民間会社は研究開始日までに研究料を納付

受託研究員の種別と研究料

区分	研究期間	受託研究員の委託者	研究料	
一般の受託研究員	長期	民間会社等の長	556,800円	
	短期		278,400円	
農林水産省農林水産技術会議事務局所管の独立行政法人(注参照)が	長期	6か月を超えて1年以内	所属する独立行政法人の長	556,800円

(出典：京都大学ホームページ)

【公開授業】

現在の場所: [ホーム](#) > [教育](#) >> [公開授業](#)

ホーム
※ 総合トップ
◎ 教育トップ
ポリシー
学生生活
学生支援事業施策
京都大学総長賞
カリキュラム
公開授業
留学・国際教育
就職情報・キャリア支援
施設案内
入試
アカデミックカレンダー

公開授業について

京都大学では、様々なかたちで、授業や教員の講義・講演を聴いていただけます。

- [オープンキャンパス](#)
対象：京都大学への受験を希望する方。1回、夏休み期間中に開催されます。
- [ジュニアキャンパス](#)
対象：中学生。年1回、例年、9月下旬～10月初旬頃に開催されます。
- [シニアキャンパス](#)
対象：どなたでもご参加いただけます。例年、9月下旬頃に開催されます。
- [京都大学市民講座](#)
対象：どなたでもご参加いただけます。年1回、開催されます。
- [京都大学春秋講義](#)
対象：どなたでもご参加いただけます。「月曜講義」と「水曜講義」があり、概ね春と秋に開催されます。
- [未来フォーラム](#)
対象：どなたでもご参加いただけます。2ヶ月ごとに開催されます。
- [京都大学オープンコースウェア](#)
学内で実際に利用している講義教材をインターネットで公開しています。

その他

- [各種イベント](#)
その他、多数の公開講座、セミナー等が開催されています。
- [高大連携](#)

(出典：京都大学ホームページ)